



平成 28 年 2 月 12 日

各 位

会 社 名 株式会社キムラタン
代表者名 代表取締役 浅川 岳彦
(コード番号 8107 東証第 1 部)
問合せ先 常務取締役 木村 裕輔
(電話 078-332-8288)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 27 年 5 月 15 日に公表いたしました、平成 28 年 3 月期通期(平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 28 年 3 月期 通期連結業績予想の修正 (平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 4,800	百万円 25	百万円 15	百万円 5	円 銭 0.01
今回修正予想 (B)	4,300	△190	△230	△250	△0.30
増減額 (B - A)	△500	△215	△245	△255	—
増減率 (%)	△10.4	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 27 年 3 月期)	4,659	27	16	4	0.01

2. 修正の理由

当第 3 四半期の売上高は、Baby Plaza の既存店が前期比 6.4%減と厳しい推移となり、BOBSON ショップについては既存店ベースで前期実績は上回るものの計画値は大きく下回る状況となりました。

一方、平成 27 年 10 月 23 日に公表いたしました、大都グループとの業務提携による「愛情設計」の中国展開につきましては、目下、中国一級都市における出店交渉やネット通販サイトへの出店等を進行中でありますが、大きく売上増加につながるのは平成 29 年 3 月期以降となる予定です。

以上の要因と足元の状況も踏まえ、通期の売上高は前回予想を 5 億円下回る見通しであります。

売上高の減少に、在庫消化促進に向けた値下げロス拡大が重なり、営業損益は前回予想を大きく下回る 1 億 90 百万円の損失となる見通しとなりました。

加えて、平成 27 年 11 月 9 日に実施した新株式発行に伴う株式交付費の計上と、業績の動向を踏まえ繰延税金資産の全額を取り崩したことにより、経常損失は 2 億 30 百万円、親会社株主に帰属する当期純損失 2 億 50 百万円と、各々予想を下回る見通しとなりました。

※ 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上